

国指定重要無形民俗文化財

見付天神

はだかまつり

令和2年度
見付天神裸祭ガイドブック

力を合わせ、
コロナを乗り越えよう!!

神事の見学は控えて下さい!

新型コロナウイルス感染拡大防止をふまえ、 今年の裸祭の実施を考える上での原則

- (A) 「3密」(密閉・密集・密接)を避けられないものは実施しない。
- (B) 「3密」を避けることが可能なものは、工夫して、今年実施される神事の参観はご遠慮ください。最小人数で実施する。

見付天神裸祭 令和2年度祭日程

「あいさつ」

見付天神裸祭保存会

会長 鈴木亨司

見付天神宮司 久野 隆

コロナ禍により、今年の裸祭は「縮小」という苦渋の決断をさせて頂きました。国指定20周年の節目を経て、盛大な裸祭にしたいと意気込んでいただけに本当に悔しく、残念な思いで一杯です。

古来から続く疫病退散・

氏子祓いを「大祓い行事」（福田海岸）として、浜垢離の日に行います。中学生の地域学習（腰蓑づくり等）も実施して継承活動を進めます。第6回いわた俳句大会は作品集発表とし、本年も広く作品募集をします。

来年の裸祭が安全で楽しく出来ますよう祈りながら、今年なりに心を込めて頑張る所存です。

昭和61年市の文化財の時は矢奈比賣神社大祭見付天神裸祭の名称でした。平成12年見付天神裸祭の名称で祭事始から本殿祭までの8日間が国の文化財となり、大祭期間がはつきりしたためのものだと思っています。

残念ながら今年には神輿が出ないため、勇壮な練りと明るい日常を神様に見て戴くことは出来ませんが、例年通りの氏子の皆さんからの協賛金を元に例祭（毎年土曜日の10・00）には山盛りのお供え物をして祝詞を奏上、小学生による舞を奉納し、未永くこのお宮に鎮まり見付氏子中の見守りを祈り、コロナの禍い（わざわい）を祓い、来年は通常の8日間を願いたいと思います。



「浜垢離迎神ノ祝詞」を奏上



大樹の神籬の下にさした小祓い

9月23日水

大祓いの行事（福田海岸）

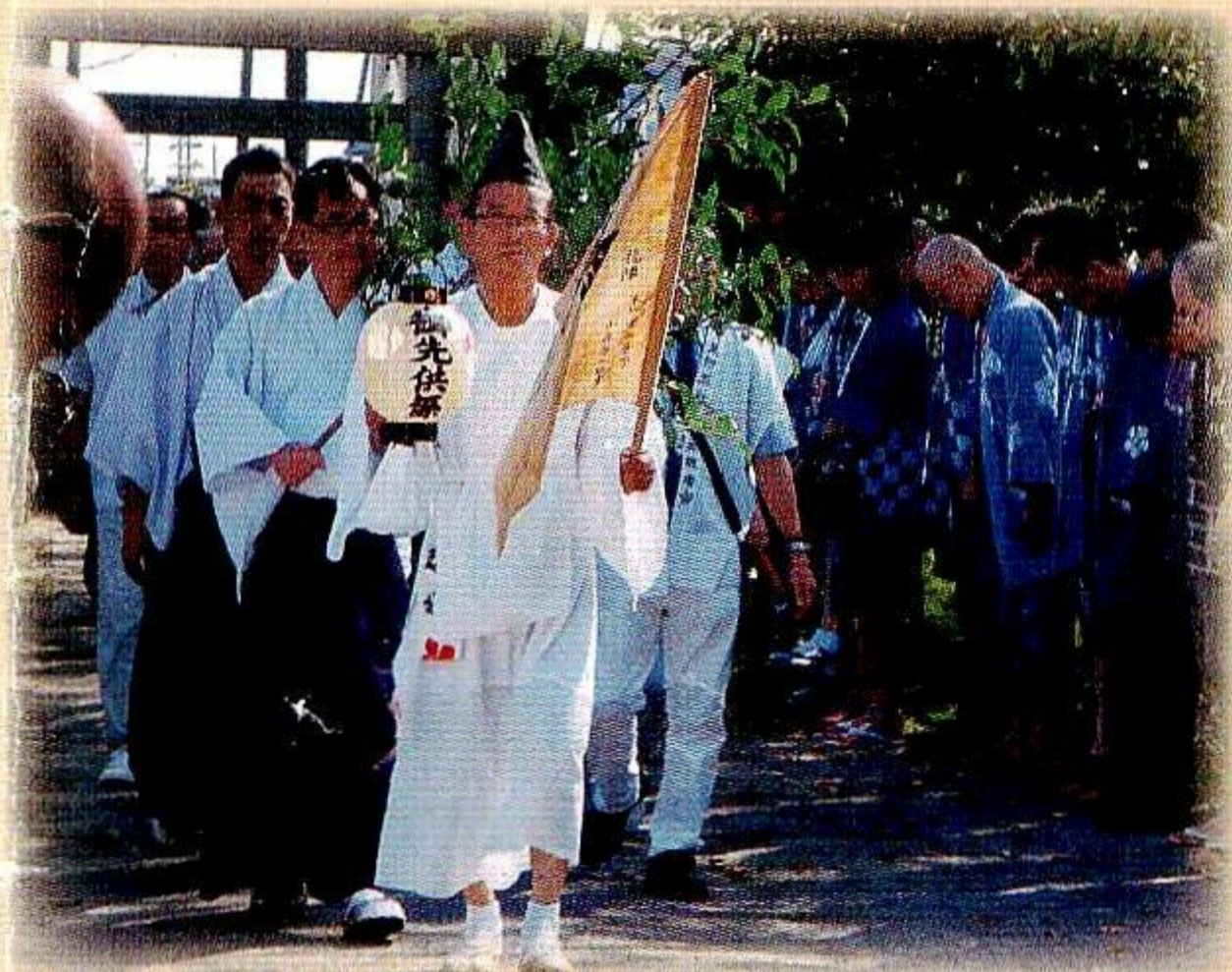
見付の人々の罪や穢れを祓った「小祓い」を集め「大祓い」を行う。「疫病が鎮まり、人々が平安に暮らせまされるように」

9月20日日

元天神社出向報告の神事 祭事始（元宮天神）

〈花火〉

元宮天神社に裸祭の開始を報告をし、縮小で行うことを告げる。「これから始まる大祭が無事行えますように」



先供が先導して元天神社へ

9月26日土

矢奈比賣神社例祭（見付天神社）

〈花火〉

例祭祝詞と浦安の舞奉納を行う。「日々の生活に感謝し、見付に住む人々が心穏やかに、健康で家内安全に過ごせ、産業が豊かでありますように」

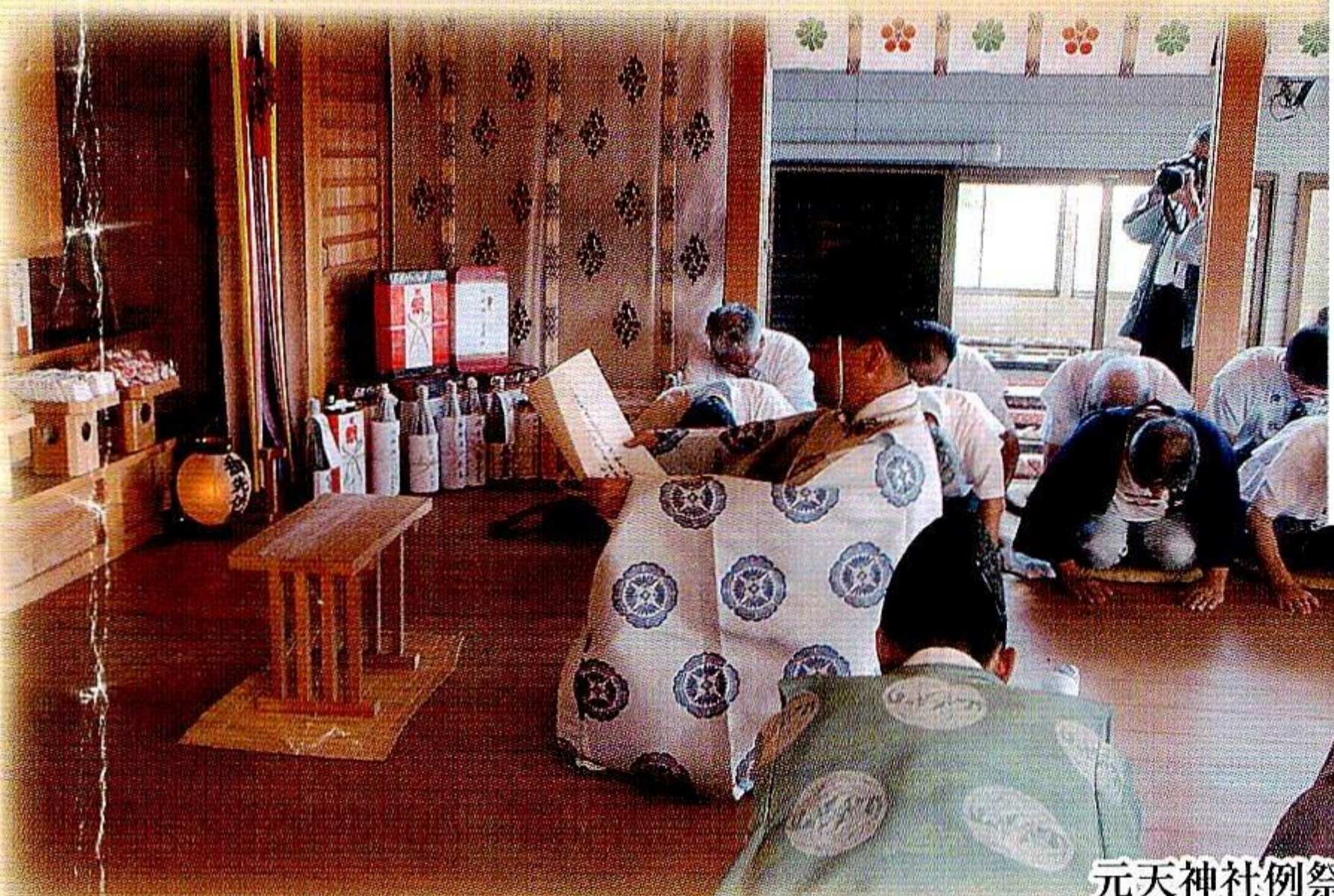


浦安の舞



矢奈比賣神社例祭に参列する氏子たち

写真は昨年のもので、今年は最小人数で行います。



元天神社例祭

※写真は昨年以前のものを使用しています。

神事の見学は控えて下さい!

いわた俳句大会

第五回 令和元年度 選者選(裸祭関係)

一般の部

(敬称略)

宇多喜代子選

頃合ひに長老来たり秋祭
背の児の足をばたばた秋祭
鬼踊大地を踏み足の裏

稲津とし子

榛葉君江

川島多美子

対馬康子選

一群の渦おのづから鬼踊
禪は裸祭の烽火なり
暗闇の艶めいて来し鬼踊り
鬼踊揉みて揉まれて神となる

高瀬寛二

神野裕子

金子千江子

浅井勝子

高柳克弘選

惚れ惚れとわが子の背中鬼踊
ビタミン剤呑んで参上鬼をどり
腰蓑の男にそそぐ盃の月
祭果て夜のしじまに皿洗ふ

川島靖子

中川正男

柿内清一

久田洋子

小・中学生の部

宇多喜代子選

町全体光あふれる祭りかな

山崎瑛子

対馬康子選

秋まつりおかしなくさん全部買う
おかあさんおまつりのにおいだね

中村信平

森下花帆

第六回 令和二年度

裸祭をはじめ磐田の魅力発信のため、本年度も「いわた俳句大会」が実施されます。

第六回いわた俳句大会

は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年二月に行っている大会は取りやめ、次の要領で行ないます。NHK俳壇等でご活躍の宇多喜代子先生と高柳克弘先生に選者をお願いし、入選句と句評を掲載した作品集を配布します。ふるってご応募ください。

選者(敬称略)



宇多 喜代子



高柳 克弘

《句題》

磐田のお祭り または 雑詠

《応募締切》

令和二年十一月六日(金)

当日消印有効

■入選句表彰

- ▼各選者が応募部門ごとに優秀作品10作品を選出します。
- ▼選出された優秀作品は句評とともに作品集として編集し、入賞者及び一般応募者全員に配布します。
- ▼表彰式は行わず、入賞者には後日賞状(特選には選者から記念品・秀逸には図書カード)をお送りします。

《応募・お問い合わせ先》

〒四三八八六五〇 磐田市国府台三ー一
いわた俳句大会実行委員会事務局
(磐田市教育委員会総務課内)
電話0538(37)4821



磐田市イメージキャラクター

「郷土に学ぶ(総合的な学習の時間)」 よつばプロジェクト 「まちづくり部会」

〈令和元年度に作成したスローガン〉

(敬称略)

最優秀賞

杉山 蒼詠(緑ヶ丘)

真夜中のこの地にひびく祭り声

優秀賞

窪田 舞子(富士見町)

令和へ受け継ぐ見付魂

優良賞

伊藤 菜々子(幸町)

鈴の音と掛け声ひびけ!!

我が町見付の裸祭り

来年こそは!

美登里 石山 直

2020年「新型コロナウイルス」によって未曾有の禍に見舞われています。

全世界、日本の各地であらゆるイベントの中止を余儀なくされ、これは対岸の火事ではなく我々にも大きな影響を及ぼしています。どんなことがあっても、かわるはずのない、「裸祭」が神事だけを行う縮小実施に追い込まれてしまったのです。やむをえない事ではあるものの長年実施されていた「裸祭」ができないのは残念でなりません。いま我々は、「裸祭」の長い歴史のなかで数少ない貴重な経験をしています。次の「裸祭」に向け、充電期間をもらったわけです。

来年は、「新型コロナウイルス」に打ち勝ち、喜びを噛み締めながら「裸祭」を迎えることを切に願います。

受け継がれる伝統への想い

城山中二年 杉山 蒼詠

裸祭が近づくと、御言葉おろしや浜垢離があり、まだ小さかった頃の僕は、大人と一緒に参加できる祭事に胸を弾ませていた事をよく覚えています。

昨年は、地域の腰蓑作りに参加させていただき、自分で作った腰蓑で大祭に参加しました。初めての大人連で少し不安もありましたが、拜殿で他の町内の友人に会い一緒に練りができた事や、自分の町内だけでなく、たくさんの方々との関わり合いができた事など、地元行事に参加することの大切さを再認識しました。

今年も、腰蓑作りや大人連への参加を楽しみにしていたので、コロナ禍による裸祭の中止は、とても残念です。来年は、中学生として最後の裸祭です。中学生らしく颯爽と見付の町を練り歩きたいと思えます。

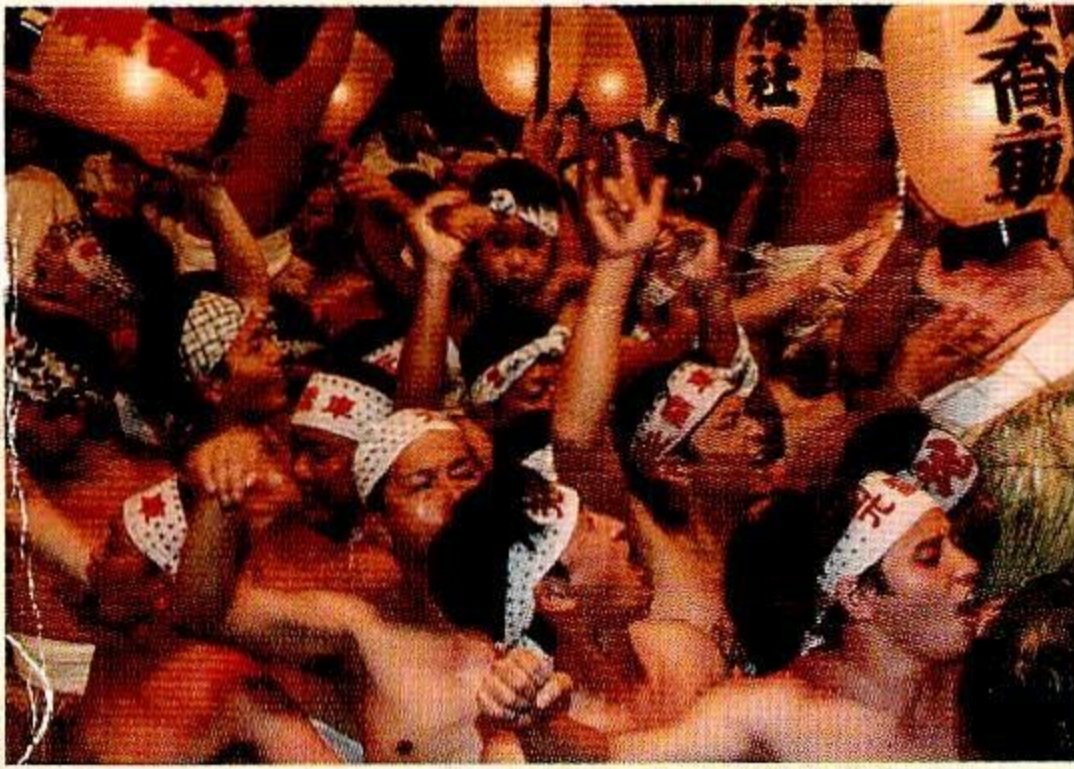
第6回 見付天神裸祭フォトコンテスト展示・入選作品

重要無形民俗文化財に指定されている『裸祭』の雄壮な練りや次代を
引き継ぐかわいい子供達の写真を募集し展示いたしました。

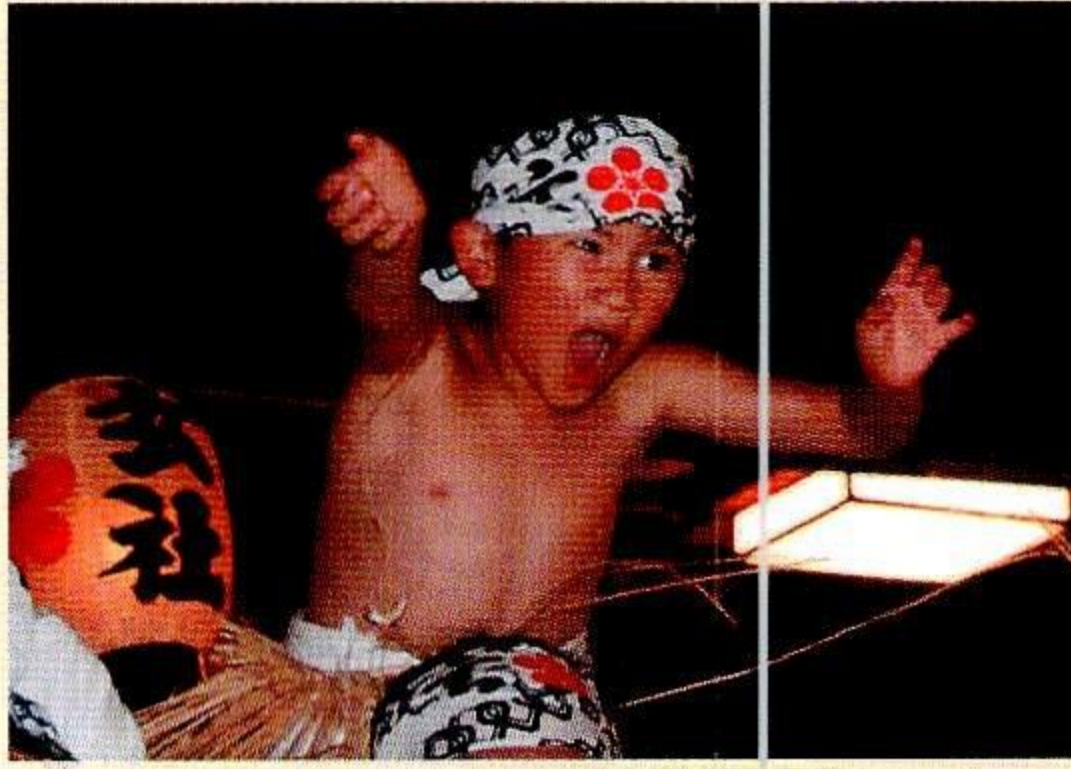
「還御」とそれぞれの場面で「これぞ！裸祭」という写真をご応募いただきました。

■展示 令和元年
11月3日～11月17日

■会場
見付交流センター



最優秀賞



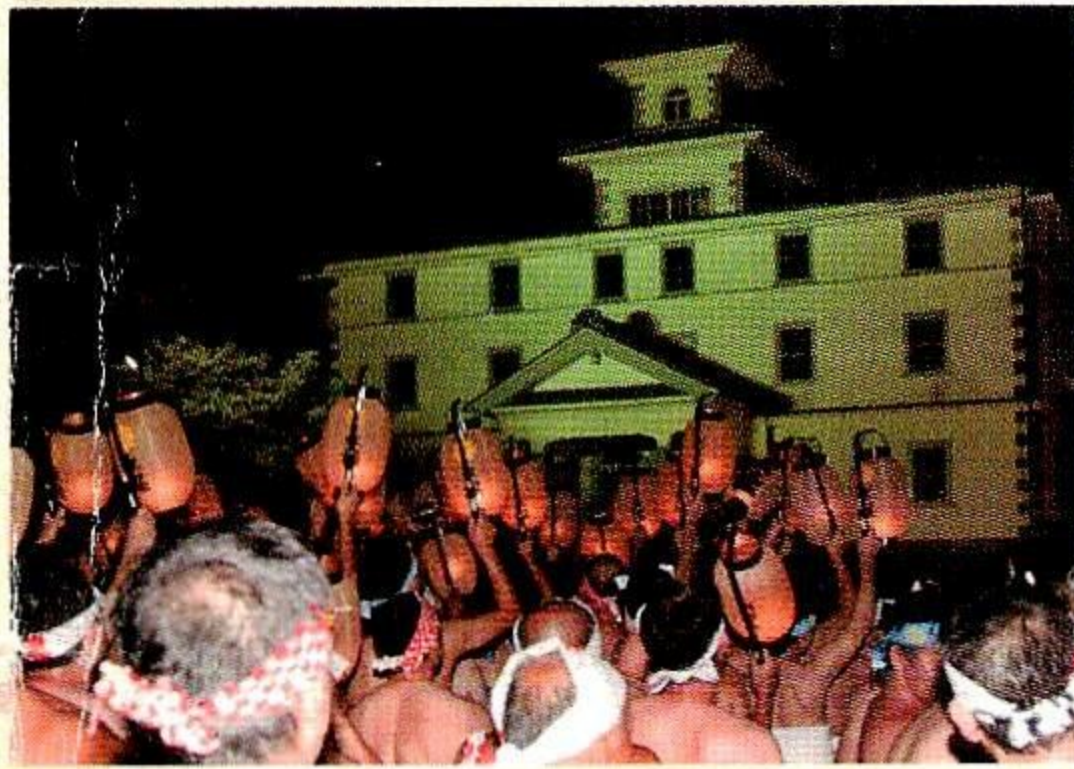
裸祭保存会長賞



矢奈比賣神社賞



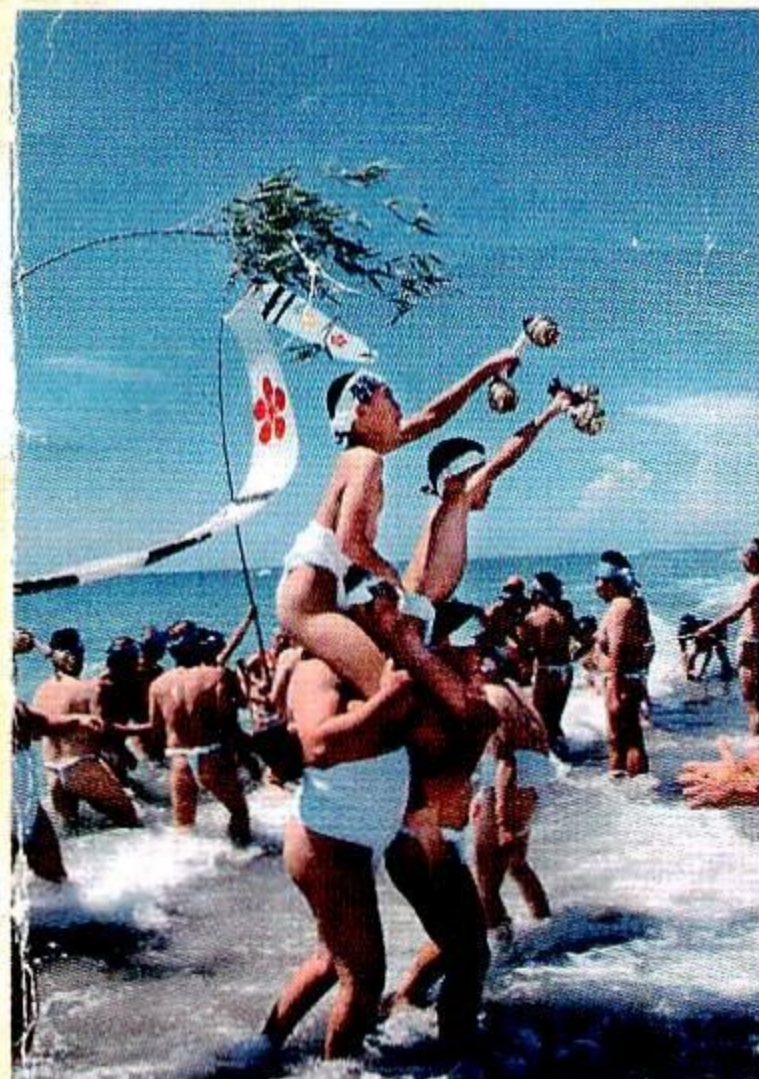
崇敬者会長賞



観光協会賞



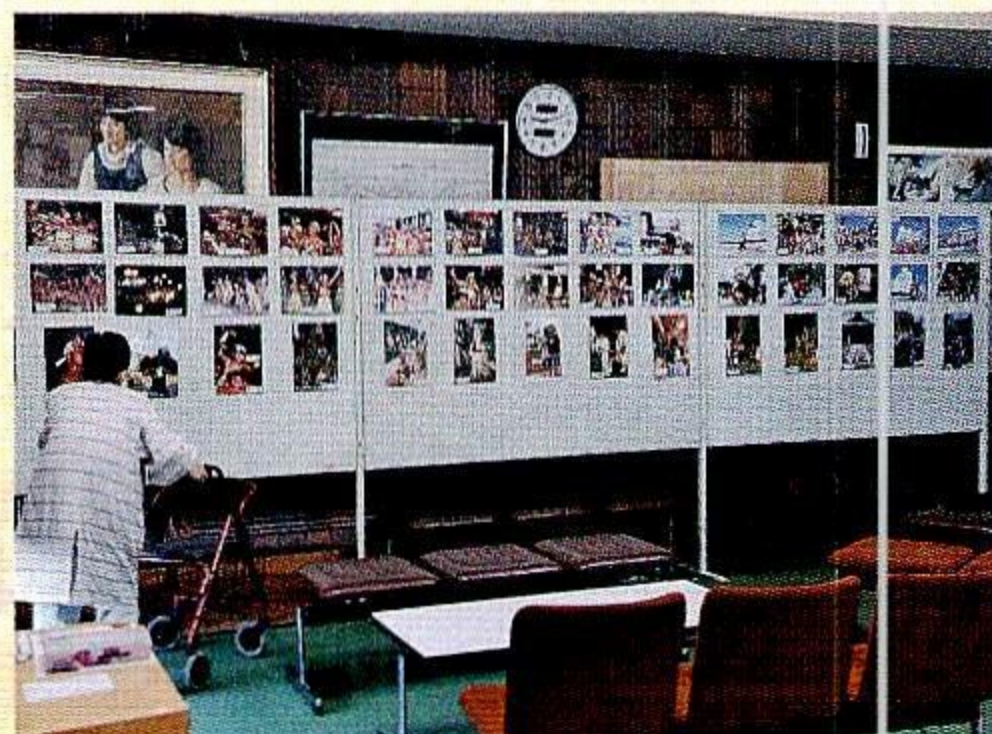
審査員賞



審査員賞



審査員賞



フォトコンテスト展示



フォトコンテスト入賞者